

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-11

学校名・団体名	前橋市立若宮小学校
HPアドレス	http://menet.ed.jp/wakamiya-es/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	響け！金管バンド ～のびる若宮の伝統を受け継いで～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>5・6年生全員で取り組む金管鼓笛隊では、教科「音楽」の学習内容を基盤とした発展的な活動にとらえ、全員で取り組むからこそ味わえる一体感や達成感を大切にしたい。その希望者で編成する金管バンドでは、さらに音楽的な内容の充実と深化を図り、同じ志を有する仲間と目標に向け主体的に取り組む楽しさを味わわせたい。それぞれの活動を通して、児童は音楽の知識を身に付け、技能を向上させ、音楽のよさを味わうだけでなく、協力し助け合うことや、一つのことを最後までやり抜くこと等、人が社会の一員として生きていく上で大切な要素を学べると考える。</p>	

《平成28年度若宮小学校金管バンド活動報告》

1 活動時期及び内容

- 2月 金管鼓笛隊伝達式 平成28年度金管鼓笛隊活動開始
- 8月 夏季休業中 特別練習／児童による楽器メンテナンス
- 9月 若宮小学校運動会（ドリル演技披露）
- 10月 若宮地区運動会（地域のみなさんへのドリル演技披露）
前橋まつり（市街地での鼓笛パレード）
活動のまとめ／児童による楽器クリーニング
金管バンド活動開始
- 12月 冬季休業中 特別練習／児童による楽器メンテナンス
- 1月 群馬県小学校バンドフェスティバル
- 2月 全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会
- 2月 活動のまとめ／児童による楽器クリーニング
金管鼓笛隊伝達式 平成29年度金管鼓笛隊活動開始



2 ちゅうでん教育振興助成の活用について

① 楽譜購入

群馬県代表として臨む全国管楽器合奏フェスティバル東日本大会に向け、本校の音楽活動の特色を生かしたステージを構成したいと考えた。本校には、今回助成いただいた金管鼓笛隊・金管バンドの他に合唱団があり、金管バンドのメンバーのうち26名は合唱団とのかけもちである。そこで、金管バンドと合唱団の合同演奏によるミュージカル『アニー』の音楽を演奏曲のひとつに決めた。助成金を活用させていただき、普段なら扱えない海外の出版社の高価な楽譜を購入することができた。

② マーチング・クォードラムの購入

本校の金管鼓笛隊では、トリオドラム（3つの音程の太鼓）を使用してきた。マーチングバンドの楽譜は、クォードラム（4つの音程の太鼓）のために書かれていることがほとんどで、これまでは奏者が演奏に苦勞し、演奏効果も十分にあげることができなかった。今回、助成金を活用させていただき、クォードラムを購入することができた。担当児童は、新しい楽器に心から感謝し、これまで以上に熱心に練習に取り組み大変素晴らしい演奏をすることができた。

③ 金管楽器修理・金管楽器メンテナンス用品

厳しい学校予算の中、高価な楽器の新規購入は限られている。代々受け継いできた楽器には購入から数十年を経た古いものもたくさん含まれており、演奏するためにより状態とはいえないものもある。児童は、毎日のメンテナンスや、活動の区切りごとに時間をかけて行うクリーニング等、自分たちにできることに丁寧に取り組んできた。楽器専門業者によるメンテナンスについては修理費が限られているために、音が出るための必要最小限のことにしかできずにいた。今回、助成金を活用させていただき、かなりの本数の金管楽器を演奏に適した状態に整えることができた。児童は楽器の状態が良くなったことに感謝し、より音楽的にレベルの高い演奏を目指して活動に取り組んだ。また、次の演奏者のために、楽器を大切に扱い引き継いでいこうという気持ちだが、これまで以上に高まった。

3 今年度の活動の成果

① 運動会ドリル演技・前橋まつりパレード（金管鼓笛隊）

前年度の2月にスタートした金管鼓笛隊には、5・6年生80名の児童が取り組み、全員で取り組むからこそその達成感や一体感を大切に活動を行ってきた。授業時間の余剰を使う以外は、休み時間や放課後等のわずかな時間を利用して、遊びたい気持ちを我慢し、誘い合って練習を積み重ねてきた。夏の校庭で行うドリル演技の練習は厳しいものであるが、仲間同士で励まし合い乗り切ってきた。一緒に頑張る本番を迎えた喜びは、児童にとって忘れられない思い出となったことであろう。「あきらめずに一生懸命やったらできるようになる。」「友だちがいたから頑張れた。」という思いが、これからの学校生活を送るための大切な力となることを願っている。

② 群馬県小学校バンドフェスティバル・

全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会（金管バンド）

金管鼓笛隊の発展的な活動である金管バンドの活動に、今年度は金管鼓笛隊80名の内75%を越える61名が参加した。課外のわずかな時間をやり繰りして練習時間を生み出して、よりレベルの高い演奏



を目指し、仲間同士で切磋琢磨してきた。小規模校ながら、この規模の編成でバンド活動を行えるのは、校内の合唱団や校外のスポーツ少年団の活動とかけもちして頑張る児童が多数いるおかげである。たとえ短時間でも楽器が演奏したい、みんなと音と心を合わせたいという児童の情熱に支えられて、充実した活動を行うことができた。

2017全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会へは、昨年度の群馬県バンドフェスティバルでの演奏を認められ群馬県代表として推薦していただいた。出場が決まってからの1年間、児童は県代表としての自覚を持ち活動してきた。年が明けてから1か月間の上達ぶりは、大変素晴らしいものであった。本番では、合唱団児童も共演し総勢71名によるステージを披露し、好評をいただいた。



2017全国小学校管楽器
合奏フェスティバル東日本大会
写真提供：(株) フォトライフ

♪明るく力強いサウンド、きびきびした動きに魅せられました。
♪子どもたちの楽器の音がよく鳴っており、どの子も演奏を楽しむレベルまで高まっています。幸せを運んでくれた、そんな演奏でした。
♪伸びやかなサウンドで華麗なパフォーマンスでした。
♪素敵なステージをありがとう。これからも仲間を大切に、みなさんにしかできない音楽を多くの人に伝えていってください。
♪私の心の中に「アニー」の情景が広がりました。演奏しているみなさんも、会場全体も音と心を一つにして楽しむことができました。

合奏はひとりひとりが全力を出して力を合わせないと成り立ちません。時には思うように音が出ないこともありですが、そこを最後まであきらめず努力したからこそ、上手くいった時、達成感を味わうことができます。若宮小学校は、音楽活動が盛んな学校です。このよき伝統をこれからも受け継いでいって欲しいです。一緒に音楽をしてきた仲間、支えてくれたたくさんの方々への感謝の気持ちを伝えたいです。

金管バンド部長

4 今後の活動について

新編成による平成29年度に向けての金管鼓笛隊の活動がスタートした。5年生は、伝統を引き継ぐ活動の中心となるべく気持ちを締め練習に取り組んでいる。4年生は、先輩たちの輝かしい姿に憧れ、活動への期待に胸をふくらませている。6年生は、これまで自分たちが受け継いできた演奏技能や心構えなどを後輩たちに伝えようと、卒業前の忙しい中、練習の様子を見に来る。それぞれの児童が、自分なりに若宮小学校の金管鼓笛隊・金管バンドの伝統を引き継いでいこうと、主体的に取り組んでいる様子をとっても誇らしく感じている。

私たちの活動を認めていただき、過分なる助成を賜りました「ちゅうでん教育振興財団」の皆様へ心より感謝申し上げます。これからも、伝統ある若宮小学校金管鼓笛隊・金管バンドらしい輝く音色を響かすことができるよう、みんなの音と心を一つに活動に取り組んでまいります。ありがとうございました。

